

今日のケース学習も、荻野が昔取ったケースをシェアします。

ケース学習ではいつも同じですが、「何が癒されるべきか？」を捉えることが最重要です。前分析～分析のプロセスを通じて、自分を偏見から遠ざけて、ケースを理解して下さい。その上で、ケースの中心(病の中心)につながるような症状や Rubrics について考えて行きました。

今回のケース学習では、周期律的観点からの観方・考え方もしてみます。今回は、ケースの最初から、鉱物的な印象を持ったのではないかと思います、それを感じましたか？

但し、経験が少ないうちは、最初から三界から分けて考えるのは、避けて下さい。三界の特徴(テーマ)の再確認をしておきましょう。(サンカランより)

.....

動物界＝SURVIVOR 生き残り

動物レメディに共通するのは“conflict:葛藤・争い”であり、その基盤にあるのは自己の分裂である。そのパーソナリティには2つの異なる側面がある:動物の側面と人の側面である。動物の側面は、競争と関係がある(動物の世界ではそれが生き残る鍵である)。関心を自分に惹き付けたいという欲求があり、これらの人たちは行動や外見が魅力的である。また、人を騙したり、意地悪だったり、攻撃的だったりすることもある—こういった特質はすべて動物的側面によるものである。いっぽうで人間的側面というのは、内部の動物的部分に対する軽蔑であるように思える。

植物界＝SENSIVILITY 感受性

植物の基本的特質というのは Sensitivity 感受性である。植物は土地に根を張り移動のできない生命体である。生存していくために外部環境の変化に敏感になる必要があり、そしてこの変化に適応する能力も有している。引っ越しができないからである。これらの特徴は植物のレメディを必要とする人にもみられる。敏感な性質で、多くの物事に影響され、それに Adjust 順応／Adpat 適応する。

鉱物界＝STRUCTURE 構造

鉱物界のレメディに共通する中心的テーマは構造的であることと組織化されていることであり、鉱物界のレメディ／パーソナリティの問題というのは、この構造的性と組織化の破壊から生じてくる。人間関係の破綻や達成しようとしたことの失敗である。非常に組織化されていて極めて系統立っている傾向がある。

Nosodes＝Desperation(死にものぐるい、やけくそ、絶望)

ノゾのテーマは Desperation(死にものぐるい、やけくそ、絶望)であり、これがそのレメディを必要とする人の人生のあらゆる領域で表れてくる。物の見方やそれに対する反応が常に Desperate である。

.....

さて、今日のケース学習も守秘義務を守って下さい。学習後、ケースは破棄して下さい。